



令和 5 年 3 月 28 日 (火) 例会 (第2866回) 報告 (晴) No.2694

出席率 …… 29/38 76.32% 第2864回補正出席率 …… 34/40 85.00%

欠席者 小坂、友森、中村、浜田(一)、堀田、松井、松本(勝)、村山、山崎

メイクアップ(親睦委) 11名 (インフォ) 3名

出席免除 足立、酒井(英)、藤瀬、増谷、渡辺(昇)

◆会長時間 三輪昌輝 会長

この春いよいよ長男が家を旅立ちますので、先週末に家族旅行で和歌山の南紀白浜に行ってきました。目的の一つ、アドベンチャーワールドの目玉は何といってもパンダです。日本で他にパンダがいるのは、上野動物園と王子動物園の三か所だそうですが、ここの素晴らしいところは、4頭もいるパンダを5分間近で見られることです。ここで生まれたパンダは16頭もいるそうで、しかもその父はすべて永明という1992年生まれの現在31歳のビッグダディーです。正にパンダ界の紀州のドンファンだとオチをもって、パンダを見るなら白浜だ!というお話しでした。

◆パスト会長時間 庄司尚史 パスト会長 (2011-12年度)

忘年家族会のチャリティーオークションに備前焼ぐい呑みを提供させて頂きました。これは人間国宝 藤原啓さんの作で、松江商工会議所田部会頭のお父さんの結婚式で元衆議院議員相沢先生が引き出物として入手されたものです。私が遺品の整理を頼まれ手元に置いていました。それを三輪会長が見事に落札してくださいました。R財団のポリオ根絶に寄付という、ロータリーの趣旨に合った形になり生前は東京RC会員であった故相沢先生も喜んでくださったと思います。



相沢先生

◆幹事報告 赫 太郎 幹事

◎石倉GE事務所より「クラブ活性化WS案内」「地区ポリオプラス小委員会委員委嘱状」「公式訪問日程表」 ◎倉吉東RCより「合同IM諸連絡」 ◎「ハイライトよねやま276号」他が届く ◎次週、例会終了後「4月定例理事会」開催

出席表彰

連続5年 中田耕治 会員



中田会員

3月創立記念日祝い

1日 松本勝志 8日 中田耕治

3日 北國恵久 28日 山崎慎也

各会員



北國会員



中田会員

◆委員会報告

◎ゴルフ同好会…黒田 耕 会長

3/26(日)第9回コンペ、優勝藤瀬、2位西富、3位中木各会員でした。次回は4/15(土)米子RC70周年コンペ頑張りましょう!

— スマイルBOX —

◎出席表彰 中田 ◎創立祝 中田、北國 ◎講師として 松本氏 ◎松本さんをお迎えして。卓話楽しみです。喜多村、定秀、柴田、瀬戸、谷田、赫、浜田(貴)、平岡、鷺澤、渡邊(冬) ◎カズちゃん、今日はよろしくお願ひします。中田 ◎どんな卓話でしょうか。あとで点数つけときます。三輪 ◎60周年記念誌が完成、各所に送付も終えました。瀬戸委員長はじめ、担当者の皆様ありがとうございます。これで晴れてお役御免となりました。川田 ◎第9回境港RCゴルフ、13名参加。優勝・藤瀬プロ(3連続優勝)おめでとうございませう。黒田 ◎ゴルフ、お疲れ様でした。木村 ◎満開の桜を喜んで 庄司 ◎台場公園の桜、きれいですね。中木

◎青少年奉仕委員会…津田純司 委員長

5/13(土)「中海野球・バレー大会」案内書配布。当日の準備・運営に皆様の力が必要です。ご協力よろしくお願ひします。

◆4月行事予定(環境月間)

- 4/9(日) 合同IM(13時～ 倉吉未来中心)
10(月) 5RC新旧会長・幹事会(18:30～ 四川中華GOCHI)
15(土) 米子RC70周年記念ゴルフ(9時～ 大山平原GC)
16(日) 地区研修・協議会(10時～ くにびきメッセ)
30(日) 米子中央RC創立30周年記念式典(16時～ ANA)

◆例会変更

- ☆米子南RC 4/10(月) 休会(定款) ビジター受付無
☆米子東RC 4/12(水) 休会(定款) ビジター受付無
☆米子中央RC 4/13(木) 休会(定款) ビジター受付無
☆米子RC 4/14(金) 休会(定款) ビジター受付無

— プログラム — 「廃棄物処理からの廃熱有効利用事例の紹介」—

三光(株) 新事業推進室 主任 松本一好氏

弊社は山陰を中心に、全国に総合環境事業を展開する企業です。松江市江島と境港市に処理工場を持ち、廃棄物を収集運搬、選別、リサイクル、焼却、エネルギー事業などを行っています。江島と潮見町の工場では廃棄物の焼却炉と、下水道などからの脱水汚泥から炭を作る炭化炉を有しており、この焼却の際に出る廃熱で蒸気ボイラーを稼働させて発電し、工場内の使用電力の一部や機械の動力、乾燥機の熱源として利用しています。



松本一好氏

この際に凝結によって出来た熱水で海水を温め、高級魚の「キジハタ」の陸上養殖も行っています。元々、県の水産課では稚魚を孵化させて、放流し、漁獲する栽培漁業を行っており、その稚魚を工場敷地内の陸上水槽にて、加温養殖で高密度飼育をするという、県の栽培漁業センターとの共同研究として平成25年度からスタートしました。今では7～8千尾を収容飼育しており、近場の飲食店や近隣温泉観光地のホテル旅館などに年間2千尾程出荷しています。

また、江島工場では中海で採取したマハゼを飼育しており、こちらも資源調査を続けてきた境港水産試験場との取り組みとして行い、弊社工場で廃熱利用の中間育成養殖を行っています。このマハゼを使い、境港総合高校の食品ビジネス科の生徒たちが調理実習も行っています。

その他、新たな取組で「フサイワヅタ」という種類の海ブドウの養殖を始めています。海藻は海中のCo2を吸収し光合成を行い成長しますので、森の木々と同様、温室効果ガス削減に大きく関わっています。

このように、私が携わる弊社の取り組みは、余剰エネルギーを使って、美味しい特産品を作り、地球環境の保全にも役立つという、一石何鳥にもつながる事業であり、色々な可能性にチャレンジしていけるこの仕事に、私は誇りを持って日々業務にあたっています。

次回(4月11日) サイロプログラム

「合同IM報告」

庄司尚史・赫 太郎 各会員

今回(4月4日) サイロプログラム

「新入会員卓話/会員卓話」

柴田秀信/鷺澤美紀・渡邊冬樹 各会員